

景観重要樹木

景観重要樹木の指定の方針

- ・道路などの公共の場所から見る事ができる樹木
- ・巨木・古木など、地域の自然、歴史、文化などの特性が現れており、地域の景観のシンボリックな存在となっている樹木
- ・樹姿（樹高、樹形）が優れ、地域の良好な景観に寄与している樹木
- ・地域の人々に親しまれ、愛されている樹木

長太の大楠（クスノキ）

- ◆指定番号 景樹第1号
- ◆指定年月日 平成24年7月20日
- ◆所在地 鈴鹿市南長太町2343番
- ◆概要 樹高26m、直径2.6m、枝張り東西30m、南北35m
昭和38年1月11日 三重県の天然記念物に指定
所有者：宗教法人須伎神社
管理団体：大きくす保存会



指定理由

長太の大楠は、南長太町に位置し、周囲は広大な田園が広がっており、地域の人を始め県外から訪れる人も多く、地域のシンボリックな存在です。樹木そのものが神社のため、憩いの場所にもなっています。

地域の観光資源となり、その地域に住む人のまちづくり意識の支えとなり、景観づくりの一助となるよう、景観重要樹木に指定いたしました。